



# 市議会9月定例会で可決

主な内容を紹介します。

保育提供量の拡充に関する取  
り組み

3200万円

(2) 保育施設の整備に関する補  
助費用

2億1692万円

(1) 一時預かり事業(幼稚園型  
II)に関する補助費用

子どもの学習支援教室増設に  
関する運営業務委託料

2532万円

## 100歳の高齢者を市長が訪問 長寿をお祝い

9月の高齢者保健福祉月間  
にちなみ、山野吉枝さん(100  
歳)の自宅を後藤市長が訪ね、  
長寿を祝いました。新型コロナ  
ウイルス感染症などの影響  
で、市長が訪問するのは5年  
ぶり。祝い状と記念品を贈ら

れた山野さんは、感極まり思  
わず涙ぐむ場面も。年を重ね  
るごとに、周りの人のありが  
たみを感じる話しました。  
9月15日現在、今年度100歳  
になる市内の高齢者は87人  
で、男女ともに最高齢者は109



山野吉枝さん(左)  
と後藤市長

歳。男性は府内最高齢です。

## パリパラリンピックで金メダル 宮食行次選手に市長賞

パリパラリンピック ゴー  
ルボール男子で金メダルを獲  
得した市出身の宮食行次選手  
(29歳)の功績を称え、10月7  
日に、市長賞を贈呈しまし  
た。

宮食選手は、「金メダルをめ  
ざしていたので、ほっとして  
います。今後は4年後のロス  
での連覇と並行して、ゴール  
ボールの競技人口を増やして

いきたい。障がいがある人も  
ない人も楽しめるスポーツな  
ので、いろんな人とチームを  
組みたいですね」と話しまし  
た。

宮食行次…生まれつき視野が  
狭く、暗いところで物が見え  
にくい。7年前、ゴールボー  
ルに出会い、182cmの長身を武  
器に急成長。東京2020パ  
ラリンピックではチーム最多



「全員が目隠しをつけて聴覚だけで臨  
むゴールボールは、コート上の選手  
の呼吸も聞こえる」と話す宮食選手(左)

得点を挙げ、5位入賞に貢献  
した。

### 市長コラム No.110

## こもれび通り

後藤圭二

## おくのとおも 奥能登を想う



コラムの音声版は  
こちら



「心が折れてしまいました」「もうここには住む  
な、ということですかね」「笑うしかありません」  
これは、豪雨に襲われた輪島市民が絞り出した  
言葉です。今年の正月、地震により大きな被害を  
受けた石川県の奥能登地域。ようやく復旧に取り  
かかり始めた9月のこと、今度は記録的な豪雨が  
容赦なく被災地を襲い、土砂崩れや河川の氾濫に  
より、またも大きな被害に見舞われました。  
地震発生以来、吹田市は輪島市と復旧支援協定  
も結び、災害対応に追われる市役所業務を懸命に  
お支えしてきました。職員数が300人に満たない  
輪島市役所にとって、今回の地震被害はその対応  
力をはるかに上回るもので、発災直後から初動

期、そして復旧に向けて動き出すまで、市役所の  
機能は混乱し続けました。  
ようやく復旧に踏み出した矢先の豪雨災害。私  
はテレビの前で言葉を失いました。即刻、本市の  
災害マネジメントの専門職員を現地に送りまし  
たが、「なぜ能登ばかりが…」という住民のみなさん  
の気持ちは想像を超えるものです。  
災害のみならず、私たちの身の回りには、さま  
ざまなことで心が折れそうになっている方々が  
おられます。「笑うしかない」と心でつぶやく人の、  
静かな笑顔に隠された思いを、私たちは日頃見逃  
していませんか。